

09-02-02 — 頭を打った —

「オムツを変えるときに台から落ちた。」・「上の子が抱っこしていて、一緒に転んだ。」など、大きい子も赤ちゃんも予期しない時に『頭を打ってしまう』事があります。その後の注意事項を書いてみます。また、頭部に“こぶ(=頭血腫)”が無いから“大丈夫”とは言えません。下記を参考にしてください。

頭部打撲①(下記 1~6 がある場合、“様子見ずに受診”してください。)

- ① 吐き気や嘔吐(=吐く事)が何回もおこる時。
- ② 頭痛(=頭が痛い)がダンダン強くなる時。
→キゲンが悪い(=いつもと違う泣き方をする/甲高い声は注意)。
- ③ いつもと様子が違う時。
→なんとなくポンヤリしている(=いつもの雰囲気と違う)。
→放っておくと、すぐに寝てしまう。
→あやしても反応が鈍い。あるいは、起こしてもなかなか起きない。
- ④ 視力が弱くなったり、物が二重に見えたりする時。
→“ボー”としている(=視点(目)が合わない)。
- ⑤ 手や足が“動きにく”なった(動きに左右差があるなど)時。
“しびれ”(=触れられることを嫌がる)たりする時。
- ⑥ けいれん(=ひきつけ)が起きる時。

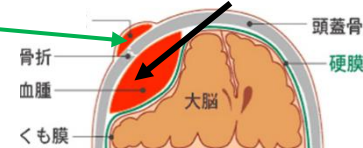
頭部打撲②(打撲直後は、普段と同じでも、上記症状を続けて警戒。)

- ① 受傷後最初の 1~3 時間は、特に注意が必要です。
- ② その後、受傷後 6 時間、12 時間さらに 24 時間たってもいつもと同じに元気なら、リスク(=危険度)は減っていきます。



怖いのは“たんこぶ”ではなく
頭の中での出血です(外から見えません)

たんこぶ



頭の中に出血すると脳が
押しつぶされてダメになります